高退協ニュース

高退協事務局

1987・8・

No. 54

高知県高等学校退職教職員協議会
▼780 高知市丸の内二丁目一―一〇
教育会館内　高教組気付
☎〇八八―二二―六八二二
振替口座 徳島五―一一八九三

暑中お見舞申しあげます

きびしい暑さが続いていますが、元気に乗り切ってください。御自愛を祈ります。

きびしい日本の現状

戦後四十二年、日本は経済的・政治的・社会的にも大きく揺れ動いている。敗戦後、新しく生誕したものが失われようとしている。高退協の諸兄も、年金・医療など問題は深刻で、決して例外ではない。

莫大な貿易黒字、国内需要拡大の国際的要求、大企業の海外進出、軍事大国化など、日本は世界的に四面楚歌のなかにおかれている。しかも、自民党政治には「経済の空洞化」の言葉で示される重大な危機が到来している。異常な円高、中小企業の不振倒産、失業者の加速度的増加、米価低落、地価高騰、軍事予算の突出、教育行政の逆行、臨教審路線強行、いずれも国民的憂慮は深まるばかり。

国会もまさにそうである。自公民の保守中道政党が、戦前の大政翼賛的なものに、民主政治を変質させようとしている。民主・平和・生活・独立・人権・新憲法、これらの命題が、権力とそれに迎合する者どもによって拒否されようとしている。

明日への展望を切り開くには、この反動攻勢を阻止しなくてはならない。働く階層を中心に、国民が一丸となって、統一と団結で、この危機に対応できうる綜合的な力を創造しなくてはならない。現時点で果すべき国民的任務を賢明に理解し、実践することが大切である。

皇国史観のみに立脚した中曽根保守政治、「教え子を戦場に送るな」の最高の教訓を忘れがちな内紛の日教組、とりわけ最重要なものに、労働組合の右傾化、権力順応に沈潜する姿がある。総同盟会長の天皇万才、総評の自壊作用、民間労組の大企業一辺倒の誤った統一理論、これらは、いつか来た道、戦前の組合無用論、勤労報国隊に通じていて、国民の願望とは全く異質のものである。ただ一つ、労働組合の本流と言ってもよい統一労組懇の生誕は祝福さるべきである。自由民権の土佐に、この組織が芽生え拡大されている。この芽と茎を大切に育てて大きく開花させ、緑あふれる大樹となることを期待したい。（事務局）

四国百山に登りませんか

岡崎　昭平

退職で肩の荷が下りた筈なのに三月頃から肩が痛み、いわゆる五十肩というので毎日医者に通っています。治療の効あって昨今は登山やバイクでの遠出もできるようになりました。そのバイクも走行距離四万六千キロ、人間でいうと七十才位に相当するボンコツです。途中で故障したら捨ててくるぞと脅しながら走っています。

先日、徳島の落合峠まで走りました。標高一五六〇米のこの峠は三蔵の北側で池もある広い高原です。丁度つつじの満開で、すばらしい眺望に恵まれたまでは良かったのですが、巻虫らしきダニに食われたのです。医者は五円玉位に赤く腫れたのを見て、一週間位して高熱が出て、リンパ腺が腫れ、全身に発疹がでてきたら巻虫だがまだわからんとのこと、幸い何事もありませんでしたが、恐い思いをしました。

でも、やっぱり山は良いですね。誰か山の好きな方がご一緒して頂ければ幸いです。

退職して

古田　恵美子

停年退職、何と淋しい言葉でしょう、いや目出度い言葉かも知れない。長年の勤めを無事に終えて明日からは時間にしばられずあれもこれもと色々楽しく想像する。が何の事はない、どれもこれも老の一字がくっついてくる。失業保険や年金等の手続きもすませ一段落すると、やはり淋しい気持ちは偽らざる所でした。

まだ遠くないあの声もあの姿も妙になつかしく覚えてくると同時に、皆様には随分お世話になったなあとしみじみ思う。そんな折、高退協よりおさそいを頂いて勇気を出して出席しました。私にはかつて高教組あげて私費の闘いを取り組んだ時、色々の交渉の場にのぞんだ貴重な体験があった。あれからもう何年お目にかかる機会もないまま御無沙汰していた諸先生方に久し振りにお会い出来て、私は感激で胸が一杯になりました。そして温かい心の交流の場はここにあったと急に元気づけられ、春風もすがすがしく、励ます会に励まされた一夕でした。

回想とこれから

山崎　孝秋

最後の職場、園芸高校のPTA副会長とこんな対話を交したことがある。「百姓仕事はやり甲斐のある仕事だ。作り物はウソは言わんきにのう」と言う副会長に、なる程世話をすればする程に収穫高となって戻ってくるからねと相槌を打ちながら、高岡高校陸上部であった卒業生三名が成人式出席のあと一杯飲みながら「オイこれから山李のところに行こう」となって、夕食を終えた私のところに、「一杯気嫌で行くぞ」と電話を入れてきた。勿論私が断酒家であることは充分に承知の上である。

私はこの出来事を出しながら随分とウソも言われてもきたが「有難う」とも言われたし、夜中に一杯気嫌で訪問される人間関係を持つことの出来た私の職業を感情を伴うやり甲斐のある仕事だと言ったものだった。幸にも何処の学校に転勤しても陸上部の顧問をやらして頂いた関係か、この三十八年全く悔のない短かい期間だったと回想している。

又、親から頂いた四反ばかりの田圃を暇をみては耕してきた身に朝の十分がどれ程貴重なモノであるか味わってきた。これからのこの十分がどのように有効に生かされてくるのか、いま日高養護学校助ケ人的動務をしている私だが、第二の人生軌道づくりの基礎となってくれる実感をひしひしと持っている。退職してから四ケ月、満足した職業回想と第二の人生に向けて自信に満ちた毎朝の健康と家庭に感謝をしている。

会費納入について

六十二年度会費の納入率は、七月十六日現在で六十一％となっております。本年度より会費の納入は、手違い等を防止するため、郵便振込（振込料加入者負担）を利用して頂いておりますが、今後ともなるべく郵便振込を利用して頂きたく、改めてお願いいたします。

振込用紙は名簿郵送の際、未納の方々には同封しましたが、念のため口座番号等をお知らせしておきます。（会計係　佐伯良夫）

・口座番号　徳島五―一一八九三
・加入者名
高知県高等学校退職教職員協議会

健康講座のご案内

本年度総会に於て、夏季学習講座を開いてはということになり、事務局で検討の結果、左記の通り計画しました。

高齢化に従って、病気の悩みや、ますます貧困化していく医療福祉の問題点をあきらかにして、少しでも不安の解消に役立てばと思います。

暑い時ですが、多数のご参加を賜わりたく、ご案内申しあげます。

記

「日時
八月二十七日、午後一時
「場所
「山内会館」（露匠町）
「内容
・高齢者の健康
成人病の治療と予防
・高齢者の医療福祉問題
知っておきたい福祉制度の活用について
「講師
高知医療生協病院医師
藤山裕氏（消化器科専門）
同生協のベテランケースワーカー

なお、講座終了後、講師を交えて、ささやかではありますが、懇親会を開きます。ご参加下さい。
会費　三千円

「近況」を機関誌へ

とんどの機関誌（第八号）は、みなさんの「近況」を重点にしたものにしたいと考えます。そうすれば、私たちの機関誌が、ますます会員相互を結び合わせる絆になり、より身近かなものになると考えます。

「健康状態や日常生活のこと
『日頃いだいている感想などを原稿用紙に書いて送ってください。みなさんの御協力を切にお願い致します。

記

「字数　四〇〇字以内
『締切　九月末
『宛先
高知市丸の内二―一―一〇
教育会館内、高教組気付
「こうたいきょう」編集委員会

なお、随想・詩・俳句・短歌などの御寄稿も、従来通りお願い致します。